
第20回 環境心理生理チュートリアル

「環境心理研究の作法と技法 ～緊急事態にならないように～」

主催：(一社) 日本建築学会 環境工学委員会 環境心理生理運営委員会 環境心理小委員会

日時：2020年9月17日(木) 13:30～17:30

開催方法：ZOOMによるオンラインセミナー (スマートフォンやタブレットをご利用の場合は、お持ちのデバイスに“ZOOM Cloud Meetings”アプリをインストールしてください)

参加費：無料 ※事前申込み制 (お申込みいただいた方はどなたでも参加できます)

定員：100名 ※お申し込み先着順

建築空間、都市空間における人々の心理や行動を対象として研究を行う場合、人と環境の関係性に着目した仮説の構築をはじめとして、知りたい事柄を明らかにするための、調査方法や実験手法の考案・決定から、データ取得後の適切な分析手法の採用に至るまで、研究全体の過程を適切に連携させることが肝要です。すなわち、調査や実験の実施、データの分析といった個々のフェーズだけではなく、研究テーマ全体を見据えて考える必要があり、全体のデザインが適切でなければ良い成果は期待できません。

研究テーマ全体のデザインについてのノウハウは、調査手法や分析手法のように個別に学ぶ機会が少ないことから、今回のチュートリアルでは、研究の全体デザインをテーマとして開催します。環境心理生理分野の研究者による具体的な研究事例を示しつつ、研究を成功に導くためのポイントを解説します。

参加者の皆さまからの研究に対するギモンにお答えする企画もありますので、研究に取り組む卒業生や大学院生、関連分野の研究者や実務者の方など、多くの方々のご参加をお待ちしています。

<プログラム>

1. 開会の挨拶 高橋正樹 (文化学園大学)
2. 講演・解説
 - 2-1 研究に失敗する方法 大野隆造 (東京工業大学 名誉教授)
 - 2-2 失敗しない実験計画 -モデル・プランニングからモデル・ビルディングまで- 辻村壮平 (茨城大学)
 - 2-3 失敗しない調査研究のシナリオ 伊丹弘美 (職業能力開発総合大学校)
3. 講演に対する質疑、環境心理研究よろず相談
(講演への質疑、および参加者の皆さまがお持ちのギモンを募り、お答えします)

申込方法：以下のオンラインフォームよりお申込みください。(フォームがご利用できない場合はメールでお申し込みください。その場合は、**ご所属、氏名を必ずご記入**ください)

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=junxi03WN0-TdckjST43PLdEqxGZarpFpxbfE8gp6atUQjNIS0RPVTIyWUHSVUdTRzZCMzJZSEM3Vi4u>

お問合せ：東北工業大学 大石洋之 (メールアドレス: hi-oishi@fm.tohtech.ac.jp)